

やまぼうし通信

NO. 131 2023年8月10日

ねんどていきそうかい 2023年度定期総会

2023年度定期総会を6月24日(土)10時~平山台健康市民支援センターで開催しました。

事業報告・決算報告・監査報告・事業計画・活動計画 返済原資及び返済計画・新生エンプロジェクについて、議決事項はすべて承認されました。今期決算では、△7,750,225円(21年度のスターショップ廃止に伴う固定資産の除却を含む)の赤字となりました。

今の最重要課題は、やまぼうしの次世代への事業の引き継ぎです。次の世代が持続可能な法人を維持し続けられるように、エンプロの育成に力を注ぎます。同時に、共生事業として全国的に注目されてきた平山台からの撤退が必要となり、関係機関や団体と柔軟に連携して、新たな将来のビジョンを作ることが急務になっています。

中長期的な事業計画では、地域連携のモデルを作り、ミレットロードをはじめとする協力団体との事業提携を増やしていくという方針が示されました。やまぼうしは大きな転換点を迎えており、社会の変化に適応して進んでいく法人であり続けることが期待されています。



2023年度の法人役員・正会員

理事長：伊藤 勲 副理事長：草場清則

理事：春口明郎 藤野達也 和光花子 鴨田裕之 菊池益生 監事：矢崎 功

正会員：都倉高久 河合琢磨 増島恭子

今後ともどうぞお力添えをお願いします。

異常気象とSDGsの中で 持続可能な未来を目指す やまぼうし

認定NPO法人やまぼうし 理事
くらしごと 支援員 鴨田裕之

今年の7月の暑さは異常でした。このペースでいくと8月の最高気温は何度になってしまうのでしょうか。地球温暖化の影響と言われていますが世界各地で異常気象が発生しています。日本でも「10年に一度の〇〇」というフレーズがよく使われているように、これまでにないような異常気象が頻発しています。

「SDGs」(エスディーゼズ)という言葉は一度は耳にしたことがあると思いますが、改めてこの言葉の意味を確認してみました。教育課程でも教えられている内容ですので、「何だったかな?」という方がいらっしゃるかもしれません。一緒に確認していきましょう。

池上彰さんは子どもたちに対して下記のように説明されています。

『SDGs』というのは、世界を変えるための17の目標です。世界の国々は、さまざまなことで意見が対立していますが、『同じ地球に住む以上、これだけは一緒に取り組んでいきましょう』と決めたものなんです。

サステイナブルとは、持続可能という意味です。これは、地球が私たちの住み続けられる環境であり続けるようにという意味であると同時に、私たちが息切れせずに取り組み続けられることをしよう、という意味があります」(池上さん) (@living より引用)

具体的な17の目標は下表のとおり。

1 貧困をなくそう	7 エネルギーをみんなにそしてグリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
2 飢餓をゼロに	8 働きがいも経済成長も	14 海の豊かさを守ろう
3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	15 陸の豊かさを守ろう
4 質の高い教育をみんなに	10 人や国の不平等をなくそう	16 平和と公正をすべての人に
5 ジェンダー平等を実現しよう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	Sustainable development Goals

外務省のホームページには「2015年9月の国連サミットで採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

～中略～ SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます」と紹介されています。

	成長・育成する			サービスの質の向上			地域貢献をする			
B	学び成長好循環	学ぶ環境(初任者)	中堅層を作る	利用者満足度	人材教育	業務の効率化	地域貢献を考える	地域貢献度の確認	地域のニーズを知る	
	管理者の質を上げる	B4	学びを軸とした交流	支援体制サポート	B5	多様なニーズに応える	地域とのふれあい	C6	イベント参加	
	何でも聞き役隊	若い人材が入ってくる環境	人材が定着する環境	工賃UP	法人内事業所連携	安全安心な環境づくり	地域の集まりに参加	地域ボランティア活動	地域協同イベント企画	C
	時間に縛られない	過ごしやすい場所	仕事に集中できる環境	B4	B5	C6	ホームページ活用	広報誌の発行	ポスターパンフ等宣伝媒体	
働きやすい環境にする	規則の見直し	A3	話しやすい雰囲気	A3	法人の持続化	C7	SNSの活用	C7	法人Tシャツ	活動を広める
	法人のスローガン	笑顔交流会	管理者の意識改革	A2	A1	新生	イベント参加・企画	異文化交流会	PR動画制作	
	ニーズの把握	OJTマニュアル	OJT担当者研修	見える化	収入源の理解	経費・時間を節約	①	②	③	
A	ボランティアインターン	A2	フェアイベント活動	事業報告会	A1	経営者の話を聞く会	④	新生	⑤	→ 行動へ
	採用計画	ホームページ活用	待遇条件等見直し	マーケティング	IT化	会員を増やす	⑥	⑦	⑧	(左表)。
	人を集め活用する			財務構造を改善する			企画する			

世の中はこのような時代に突入しているわけですが、当法人はと云えば、6月24日総会が開催されました。2022年総会において承認された『エンプロジェクト』の進捗状況についての報告がありました。これはまさにサステイナブルな法人運営のための目標と言えますが、各チームで話し合われた具体的な行動目標が6月の総会で発表されました(左表)。

地域で必要とされる法人として、多くの皆さまに当法人の活動を知っていただけるよう活動に邁進していきたいと思っております。そのためにも法人職員が一体となって具体的な取り組みを実行し、掲げた目標を達成していきたいと考えております。次回以降のやまぼうし通信では取り組み内容の詳細について会員の皆様に報告できるとおもいます。

定期総会にて永年勤続賞の表彰式を行いました。(勤続10年)

♪ おめでとうございます ♪

ののか 中田あけみ げん 松川明彦 くらさわ 山田大樹 平山台 原口陽子
 くらしごと 岩崎ともみ おちかわ屋 根木山和子 敬称略
 永きにわたり、やまぼうしにご尽力いただき感謝申し上げます。